WETMASTER

滴下浸透気化式加湿器

床置型 / 単独運転・室内直接加湿

WM-VFC タイプ

大容量・床置型/単独運転の
滴下浸透気化式加湿器をモデルチェンジ!

サーバールームや**通信機器室、工場施設**などの
産業空調にご使用いただけます

WM-VFC5000

▶ 大容量となる２型番をラインナップ

室内の空気条件に応じて、空調システムや空調機の運転モードに左右されることなく確実に加湿します。

▶ 顕熱負荷の高い室内の加湿に

通信機器室やサーバールームでは、発生した熱を水分の気化蒸発に利用するため、冷房負荷を軽減し省エネルギーにつながります。

▶ ２種類のダクト接続用オプションを用意

加湿器から離れた場所に加湿空気を吹き出したい場合などにご使用いただけます。

※一般空調（オフィスや学校、老健施設など）に対しては、静音性などを考慮した同じ床置式の滴下浸透気化式加湿器 VWB タイプをご検討ください。

ウエットマスター株式会社

滴下浸透気化式加湿器 VFC タイプは・・・

●VFC タイプは、床置型の本体を単独で取り付けて室内空気に対して直接加湿を行う滴下浸透気化式加湿器です。

●加湿モジュール・ドレンパン・ファン・操作スイッチ・プレフィルタなどをコンパクトにパッケージ化しました。

●単独運転の気化式としては、加湿能力の大きい 2 型番を用意しています。

●通信機器室・電算室・電子機器工場など顕熱負荷の大きい室内では、発生した熱を水分の気化蒸発に利用するため、消費電力が少なく、冷房負荷を軽減し省エネルギーにつながります。

●加湿器本体を室内に設置し直接加湿するため、空調システムや空調機の運転モードに左右されることなく確実に加湿します。

●日常のメンテナンスは加湿モジュールの点検、プレフィルタの掃除、給水ストレーナの掃除です。これらのメンテナンス作業はすべてフロントパネル・吸込グリルを開ければ行えます。また、シンプルな構造で機械的な故障が少ないことも特徴です。

●本体正面の操作スイッチには「運転」・「加湿」・「警報」などの運転状態を表示するほか、積算運転時間も表示しており、メンテナンス周期の確認も容易です。「運転」・「排水 / 漏水異常」などの外部信号の取り出しも行えます。

●モデルチェンジに伴い、給水ユニットに二連電磁弁（給水遮断弁）を採用。給水システムの安全性がさらに向上しました。

※一般空調（オフィスや学校、老健施設など）に対しては、静音性などを考慮した同じ床置式の滴下浸透気化式加湿器 VWB タイプをご検討ください（P.11 参照）。

主要部分の機能

①加湿モジュール
顕熱～潜熱の熱交換により水分が気化蒸発します。

②給水ヘッダ
給水ヘッダに取り付けられた細管から加湿モジュールへ均等に連続給水します。

③給水ユニット
給水ストレーナ、減圧弁、給水用電磁弁などで構成されています。

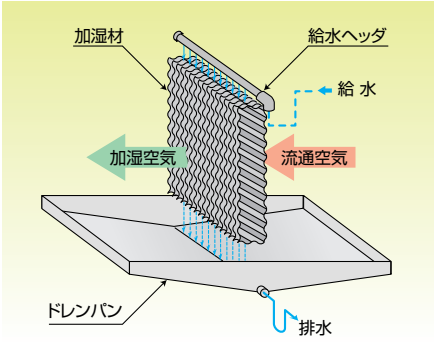
④漏水検知センサ
万が一の漏水を検知し、異常を操作スイッチに表示し、外部信号を出力します。このとき運転も停止します。

⑤操作スイッチ
運転状態や積算運転時間を表示します。また、異常発生時には警報表示灯が点灯します。

滴下浸透気化式加湿器による気化冷却効果

滴下浸透気化式加湿器の加湿後空気は水滴を含まない高湿度空気となります。水が蒸発するのに必要なエネルギーを蒸発潜熱（気化熱）といいますが、気化式による加湿では、水分の気化蒸発により空気温度を低下させながら加湿します。

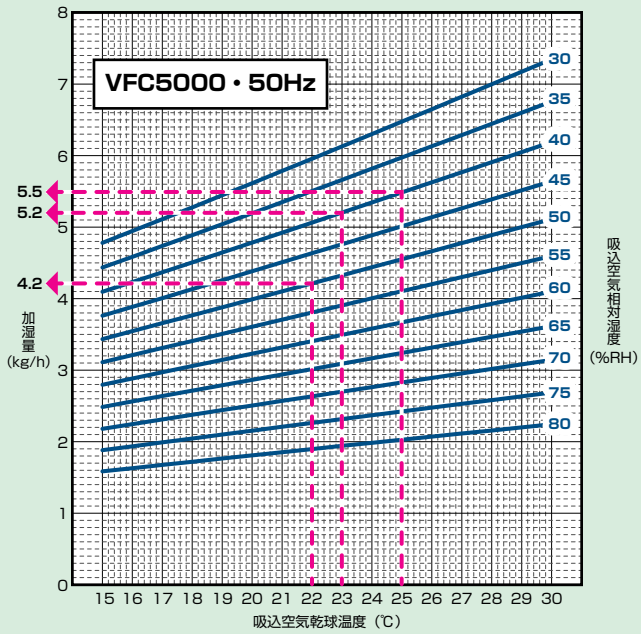
例えば 20℃の水 100kg を気化式加湿器で加湿した場合、約 245MJ の熱を周囲から奪いながら加湿することになります。この熱量は冷房能力換算で約 68kW、28 馬力相当の冷却効果があります。



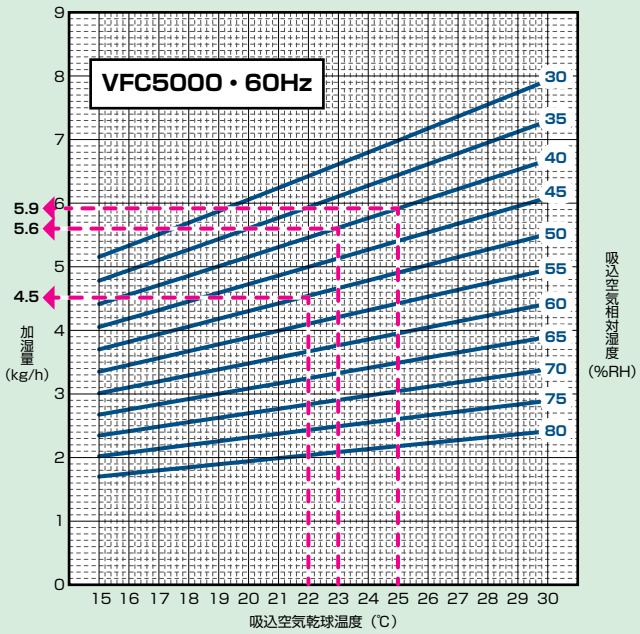
加湿能力線図

加湿器吸込空気の温湿度に対する加湿能力を表します。加湿器吸込空気条件が標準加湿能力条件と異なる場合は、下記加湿能力線図の乾球温度・相対湿度の交点から加湿量を求めることができます。

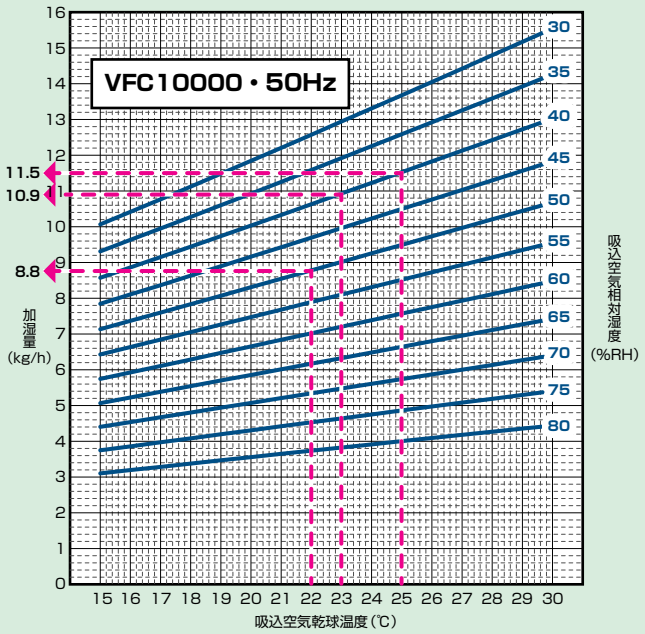
VFC5000【加湿能力線図読み取り例】50Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 5.2kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 5.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 4.2kg/h



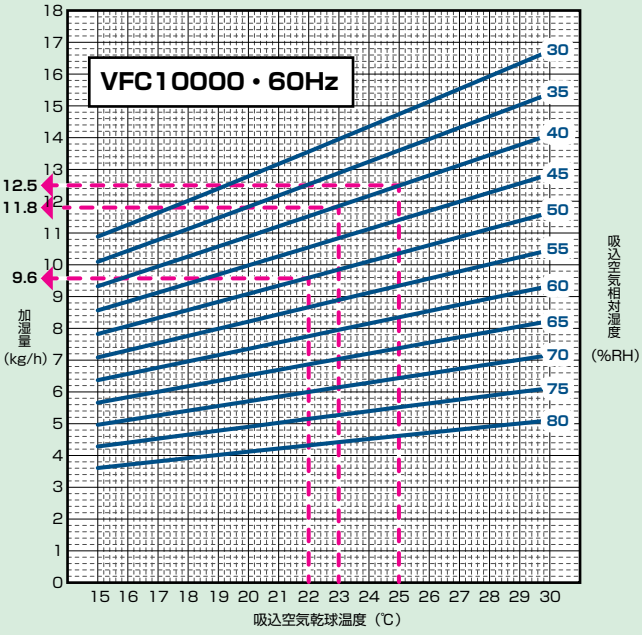
VFC5000【加湿能力線図読み取り例】60Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 5.6kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 5.9kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 4.5kg/h



VFC10000【加湿能力線図読み取り例】50Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 10.9kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 11.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 8.8kg/h



VFC10000【加湿能力線図読み取り例】60Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 11.8kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 12.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 9.6kg/h



仕　様

※表内□ / □の数字は、50/60Hz の値を示します。

機種・型式		床置型、滴下浸透気化式加湿器　VFC	
型番		WM-VFC5000	WM-VFC10000
標準加湿能力	吸込空気条件 23℃・40% RH	5.2/5.6kg/h	10.9/11.8kg/h
	吸込空気条件 25℃・40% RH	5.5/5.9kg/h	11.5/12.5kg/h
	＊標準加湿能力は定格風量時の値です。 標準加湿能力は吸込空気条件により変化しますので、吸込空気条件が異なる場合は P.2 の加湿能力線図でご確認ください。		
定格風量		1,300/1,400m³/h	2,700/2,900m³/h
運転音		64dB(A)	67dB(A)
定格電源		単相　AC200V　50/60Hz	
定格消費電力		270/390W	450/660W
定格電流値		1.3/1.9A	2.1/3.1A
運転時質量		120kg	155kg
電圧許容範囲		± 10%以内	
使用条件	周囲温湿度	5 ～ 40℃（凍結しないこと）、80%ＲＨ以下	
	供給水質	水道法水質基準に準ずる飲料水※1	
	供給水圧力、温度	0.05 ～ 0.5MPa、5 ～ 30℃	
給水量		0.358 ℓ /min ± 20%	0.738 ℓ /min ± 20%
本体塗装、塗装色		焼付塗装、アイボリー系（近似色 マンセル 5Y9/0.5）	
保健衛生対策		定時乾燥機能（加湿モジュール乾燥のための送風運転　24 時間毎に 1 時間送風運転） ＊衛生的な加湿を行うために 1 日に 1 回、乾燥運転を行います。定期的に加湿モジュールを乾燥させることで、臭気などの発生を予防します。初回のみ給電後 12 時間で乾燥運転に入り、以降は 24 時間ごとに乾燥運転に入ります。	
表示	通常運転時	1）電源表示灯　2）加湿表示灯　3）加湿材乾燥表示灯　4）積算運転時間計	
	異常	1）警報表示灯（排水 / 漏水異常）	
外部信号	入力	1）空調機インタロック（無電圧接点入力） 2）ヒューミディスタット（無電圧接点入力） 3）外部指令（無電圧接点入力）※2 4）緊急停止（無電圧接点入力）※3	
	出力	1）運転（無電圧接点出力 / 加湿運転時に出力） 2）警報（無電圧接点出力 / 排水、漏水異常時に出力）	
安全保護装置		1）ドレンパン高水位検知 / 機内漏水検知による運転停止 2）主回路異常（サーキットプロテクタによる） 3）コントロールユニット異常（ヒューズ）	
客先ご用意		1）ヒューミディスタットをご使用の場合は客先ご用意となります。 2）加湿器本体への電気工事は、客先工事となります。 3）加湿器本体への給水配管（本体側 Rc1/2）および加湿器本体からの排水配管（本体側 Rc3/4）は、客先工事となります。 4）各加湿器ごとに漏電ブレーカおよび給水サービス弁、フラッシング用バルブを設けてください。	
梱包内容		加湿器本体（鍵付属）、施工要領書 / 取扱説明書	

※ 1：加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。
飲料水の水質基準を満足した水でも地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

※ 2：外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。信号の種類に応じ加湿器コントロールユニットのディップスイッチ切替が必要です（出荷時設定は常時入力信号）。

※ 3：緊急停止中は操作スイッチの表示灯が全て消灯します。ただし、警報表示灯が点灯していた場合は継続して点灯します。運転を再開するには、緊急停止信号を OFF にしたあと、再度操作スイッチ上の運転ボタン（入 / 切）を押すか、外部指令信号を入力する必要があります。また、緊急停止信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。信号の種類に応じ加湿器コントロールユニットのディップスイッチ切替が必要です（出荷時設定は常時入力信号）。

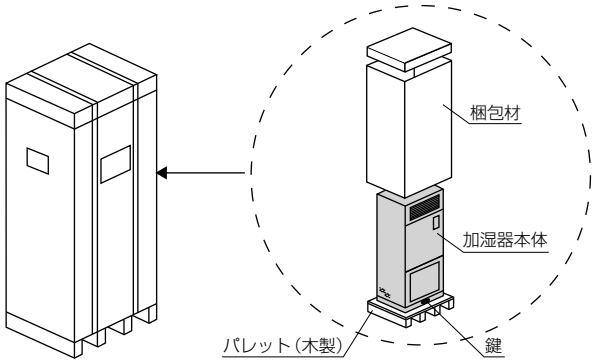
■ 梱包形態

加湿器フロントパネル開閉用「鍵」は本体正面下部にエアパック巻で貼り付けてあります。搬入時に紛失しないようご注意ください。

＜付属品＞

施工要領書 / 取扱説明書：1 冊
鍵：2 個（エアパック巻、シール貼り付け）

型番 (WM-)	梱包寸法（mm） L × W × H	梱包質量 (kg)
VFC5000	750 × 600 × 1930	125
VFC10000	1050 × 600 × 1930	160



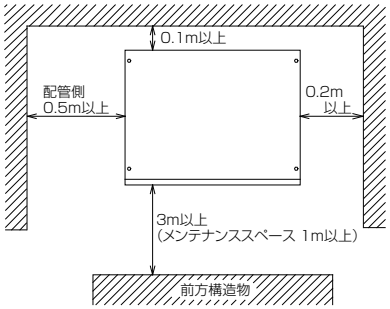
ご採用にあたって

■ 施工について

本体取付

●本体は必ず水平に取り付けられるようにご配慮ください。

●下図の加湿器本体周囲スペースを確保してください。また後々の保守点検が容易に行えるようサービススペースにご配慮ください。



●加湿器からの吹出空気が窓や壁面などに直接あたりますと、結露するおそれがありますので、取付位置および吹出方向にご配慮ください。

●プレフィルタのサイズと枚数

型番(WM-)	W	H	D	使用数/台
VFC5000	640	515	≒5	1
VFC10000	465	515	≒5	2

給排水配管

●加湿器への給水は、公共の水道管から直接接続することはできません。このような場合はシスターン(型式認可品)をご使用ください。水道直結給水につきましては、お問い合わせください。

●加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください(上水道の使用を推奨します)。飲料水の水質基準を満足した水でも地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合が有りますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

●給水配管には各加湿器ごとに必ず給水サービス弁とフラッシング用バルブを設けてください。

●排水配管は管径20A以上とし、排水主管までは各加湿器ごとに単独で配管してください。

●排水配管は必ず1/100以上の先下がり勾配を確保してください。

●給水配管・排水配管ともに、凍結および結露を防止するための保温処理が必要となります。

●加湿器本体への給排水接続は、左側面にありますが、本体内の追加作業により右側面とすることができます。

電気配線

●加湿器への電源には、各加湿器ごとに必ず漏電ブレーカを設けてください。

●アースはD種接地工事にて必ず施工してください。

●ヒューミディスタットはお客様ご用意となります。

●ノイズの影響を避けるため、「インタロック/ヒューミディスタット(2心×2、シールド線)」「外部指令(2心もしくは3心、シールド線)」「緊急停止(2心もしくは3心、シールド線)」「出力信号(4心)」をそれぞれ分離し、配線してください。

●「運転」および「警報(排水/漏水異常)」を無電圧接点信号として外部取り出しが可能です。

●遠方停止は外部からの停止信号(無電圧接点入力)により、加湿器の運転を強制的に停止させることが可能です。なお、遠方停止時は自己保持しますので運転を再開するには加湿器本体の運転スイッチを一旦OFFにし、再度ONにしていただく必要があります。

■ 運転・保守など

運転制御

●加湿器への給水は、減圧弁・電磁弁などの組み合わせにより自動的に行われます。

●空調機器とのインタロック回路により自動運転を行います。またヒューミディスタットをご使用の場合には加湿信号により自動発停します。

●衛生的な加湿を行うために1日に1回、乾燥運転を行います。定期的に加湿モジュールを乾燥させることで、臭気などの発生を予防します。初回のみ給電後12時間で乾燥運転に入り、以降は24時間ごとに乾燥運転に入ります。

●ドレンパン高水位・漏水検知により加湿器の運転を停止するとともに、本体操作スイッチ上に警報を表示します。

保守点検

●通常の保守は加湿モジュール点検(洗浄)、給水ストレーナ・フィルタ・ドレンパン掃除などです。

●加湿用給水配管はシーズンオフには通水がないため管内の腐食が発生しやすく、残留水は汚れます。配管残留水の加湿器への流入防止および衛生的にご使用いただくために、シーズンイン時には必ず配管のフラッシングを実施してください。

●加湿モジュールは、使用によって汚れが堆積するため、定期的な洗浄が必要です。

＊汚れの量は、水質や運転環境の様々な要因によって変化しますので定期的に監視し、汚れの質や量に応じた洗浄方法、洗浄サイクルを定めてください。水道法水質基準に準じている場合でも、全硬度、シリカ成分量などが多ければ、それだけ汚れやスケール成分の析出量も多くなる可能性があります。
参考として、(一社)日本冷凍空調工業会標準規格では「冷凍空調機器用冷却水水質基準(JRA-GL02-1994)」において、冷却水の補給水の水質についてスケールの傾向に影響を与える項目と基準は、pH(25℃):6.8～8.0、導電率(25℃):30mS/m以下、酸消費量(pH4.8):50mg$CaCO_3$/ℓ以下、全硬度:70mg$CaCO_3$/ℓ以下、カルシウム硬度:50mg$CaCO_3$/ℓ以下、イオン状シリカ:30mgSiO_2/ℓ以下とされています。
ただし、上記基準を満たした水でも、地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。
また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

●加湿モジュールの洗浄方法
①加湿モジュールにスケールの析出がない場合は、酸素系漂白剤による一般洗浄を行います。
②加湿モジュールにスケールが析出している場合は、専用洗浄剤によるスケール除去を行います。

●加湿モジュールの交換周期は、加湿器の設置環境や供給水質、洗浄作業の頻度などに左右されますが運転時間5,000時間を目安にしてください。一般空調での暖房期の加湿運転時間を1日10時間とした場合、年間1,250時間となりますので交換周期は4年が目安となります。また、年間空調での加湿運転時間は5,000時間となりますので交換周期は1年が目安となります。

その他

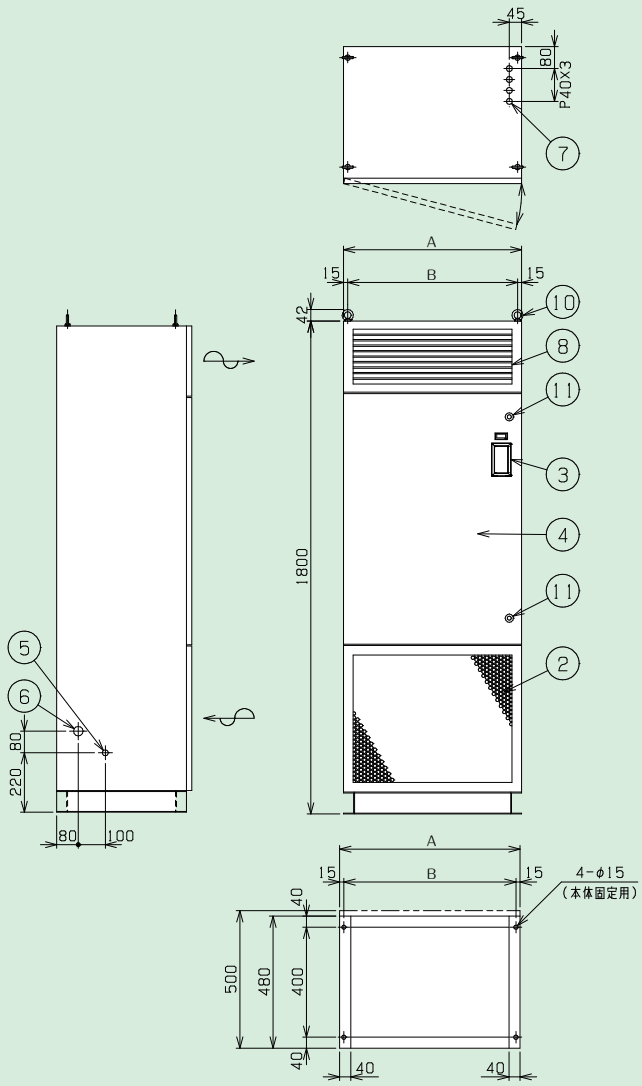
●室内直接加湿型の加湿器を空気清浄度を管理されている室内、施設にてご使用になる場合、加湿器二次側に清浄度を満足させるフィルタなどを設置することができません。使用環境により稀に水質などを起因とするスケールなど塵埃が発生する場合がありますのでご理解の上ご使用ください。

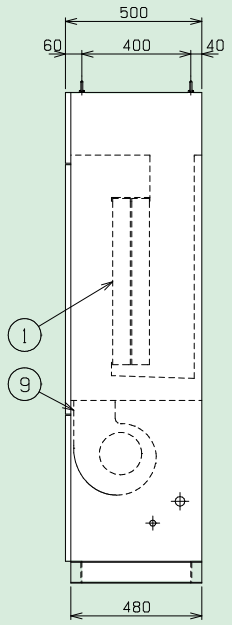
●加湿器を通過する気流または供給される給水中に撥水性を有する物質が含まれている場合、その成分の影響により加湿モジュールが撥水する場合があります。交換周期が短くなる場合がありますのでご注意ください。

●本加湿器はウイスカ対策品ではありません。本体筐体およびその他各部に電気亜鉛メッキを使用していますのでご注意ください。詳細については、当社宛お問い合わせください。

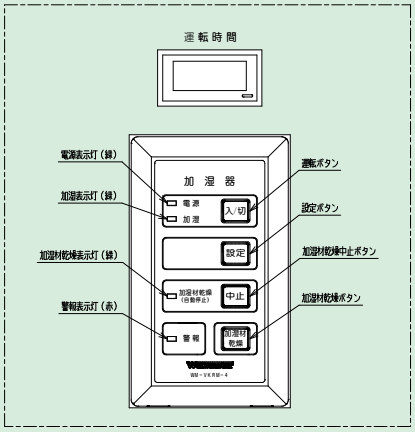
●現場の空気条件などにより、使用できない場合があります。以下のような場合には弊社宛ご相談ください。
＊通気、設置場所に腐食性ガスが予想される場合
＊厨房、食品工場その他、通気に塩分やオイルミストを含むおそれがある場合
＊機械工場など、通気に金属製の塵埃を含むおそれのある場合
＊病院などの清浄度を要求される特殊空調
＊オフィス・会議室などへの設置を検討される場合は、ファンによる運転音が問題となる場合があります。
＊ウイスカが問題となる場合

加湿器本体外形図





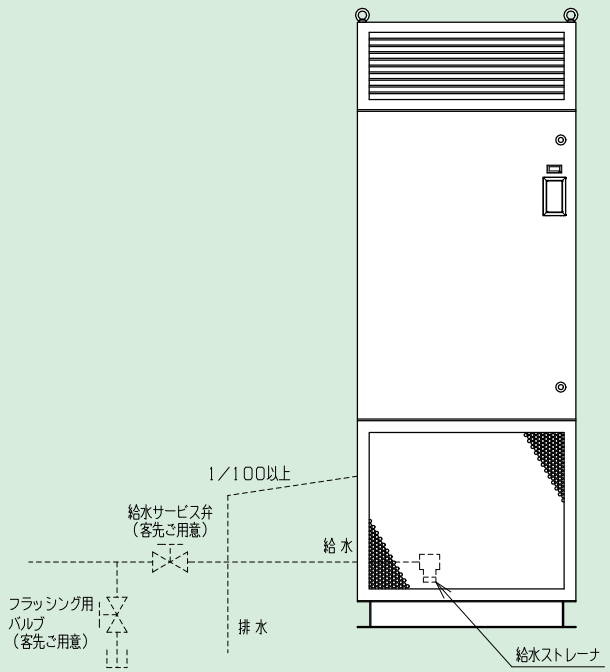
操作スイッチ詳細図



型番	WM-VFC5000	WM-VFC10000
A 寸法	650	950
B 寸法	620	920

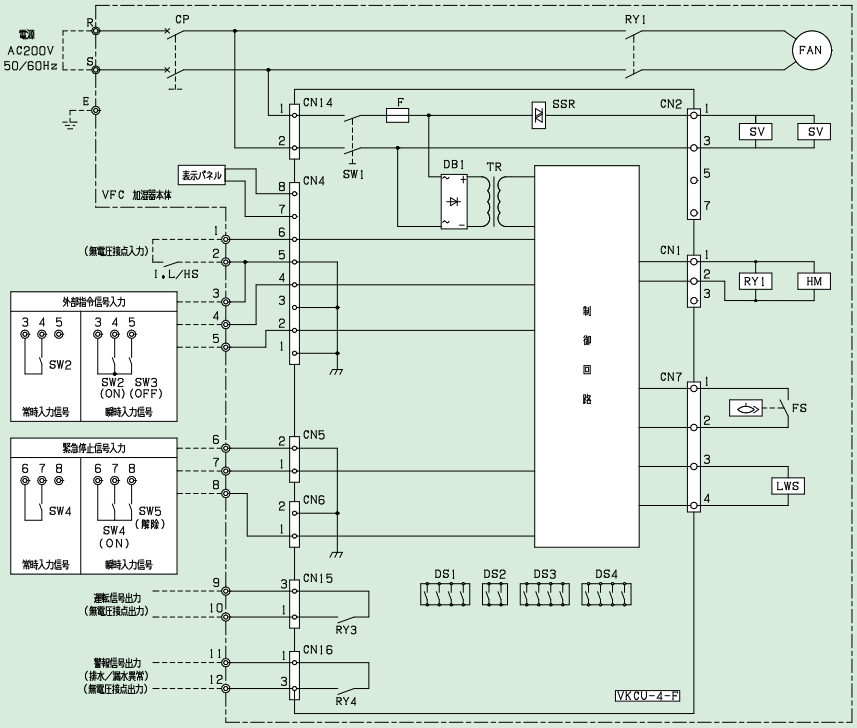
番号	部品名称	仕様
①	加湿モジュール	HS ファイバー（抗菌仕様）
②	プレフィルタ	PPハニカム
③	操作スイッチ	詳細図参照
④	フロントパネル	鍵付
⑤	給水口	Rc1/2　C3604B
⑥	排水口	Rc3/4　SUS304
⑦	電源接続口	4-φ22
⑧	吹出口	H 型
⑨	ファン	シロッコ（二連）
⑩	吊ボルト	4-W3/8
⑪	開閉用鍵穴	三角キー、8mm

配管接続要領図



- 加湿器本体への給排水接続は、左側面にありますが、本体内の追加作業により右側面とすることができます。
- 加湿器への給水配管には、図を参考に給水サービス弁およびフラッシング用バルブを設けてください。また、フラッシング用バルブの後に配管を接続する場合、クロスコネクションとならないよう処置してください。
- 加湿器からの排水配管は必ず 1/100 以上の先下がり勾配とし、先端は大気開放としてください。
- 加湿器を複数台設置する場合、給排水配管は必ず 1 台ずつ配管してください。
- 給水口の本体内部には、給水ストレーナ、給水ユニットを内蔵しています。

電気回路図

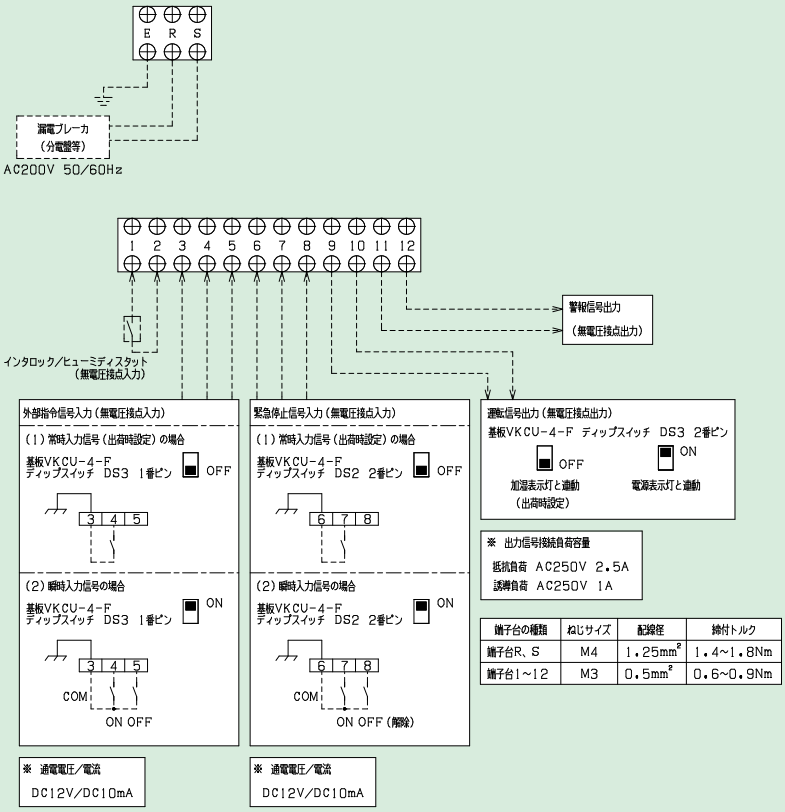


出力信号負荷容量

抵抗負荷	AC250V 2.5A
誘導負荷	AC250V 1A

番号	記号	部品名称	仕様
1	VKCU-4-F	コントロールユニット	マイコン制御
2	CP	主電源スイッチ	10A
3	SW1	電源スイッチ	波型(基板搭載)
4	SW2	外部指令入力接点	瞬時or常時入力(客先ご用意)
5	SW3	外部指令入力接点	瞬時停止(客先ご用意)
6	SW4	緊急停止入力接点	瞬時or常時入力(客先ご用意)
7	SW5	緊急停止解除接点	瞬時入力(客先ご用意)
8	FAN	ファン	AC200V
9	SV	給水用電磁弁	AC200V
10	HM	運転時間積算計	アワーメータ AC200V
11	FS	高水位フロートスイッチ	上 ON
12	LWS	機内漏水センサ	電極式
13	RY1	ファン運転リレー	AC200V
14	SSR	給水電磁弁運転リレー	ソリッドステートリレー
15	RY3	運転信号リレー	DC リレー 1a
16	RY4	警報信号リレー	DC リレー 1a
17	F	ヒューズ	AC250V 1A
18	I.L/HS	インタロック、ヒューミディスタット	客先ご用意
19	TR	SWトランス	基板搭載タイプ、絶縁型
20	DB1	全波整流器	4A 600V 耐圧
21	DS1	ディップスイッチ	4P
22	DS2	ディップスイッチ	2P (緊急停止信号入力設定)
23	DS3	ディップスイッチ	4P (外部指令信号入力設定)
24	DS4	ディップスイッチ	4P
25	E	アース	D 種接地工事

端子台接続要領図



※ 出力信号接続負荷容量

抵抗負荷	AC250V 2.5A
誘導負荷	AC250V 1A

端子台の種類	ねじサイズ	配線径	締付トルク
端子台R、S	M4	1.25mm²	1.4~1.8Nm
端子台1~12	M3	0.5mm²	0.6~0.9Nm

- 破線部分は客先ご用意となります。
- 加湿器への電源には必ず加湿器 1 台に 1 個の漏電ブレーカを設けてください。
- 電源接続口は本体上面に設けてあります。配線を通して本体内の端子台に接続してください。
- インタロック、ヒューミディスタット接続時には端子台（1-2）の短絡線を外し、無電圧接点を配線してください。
- ノイズの影響を避けるため、「インタロック / ヒューミディスタット（2 心× 2、シールド線）」「外部指令（2 心もしくは 3 心、シールド線）」「緊急停止（2 心もしくは 3 心、シールド線）」「出力信号（4 心）」をそれぞれ分離し、配線してください。
- 強電の電源ラインと弱電の信号ライン（1 ～ 12）は分けて配線してください。同一管路内に納めて配線すると、誤動作の原因になります。
- 遠無電圧接点には、採用的寄不可 10mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧 DC12V を印加していますので、別電源から電圧を印加しないでください。
- 瞬時入力信号の場合は、100msec（0.1 秒）以上の a 接点の信号を入力してください。
- 必ずアース接続（D 種接地工事）を行ってください。

オプション仕様（上部ダクト接続型、背面・上部ダクト接続型）について

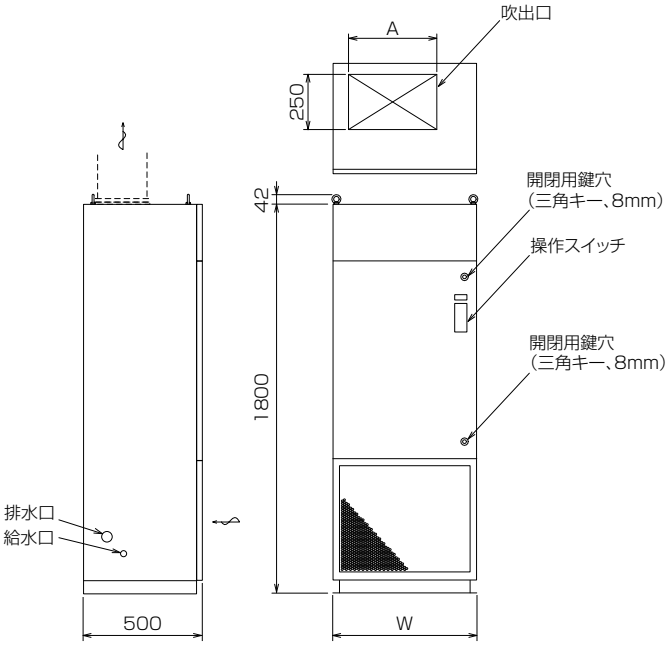
VFC タイプではオプションとして以下 2 つの仕様をラインナップしています。

上部ダクト接続型仕様

加湿器本体上部をダクト接続加工したタイプです。
加湿器本体から離れた場所に加湿空気を吹き出したい場合に適用します。
※加湿器ファンの機外静圧の関係で、設置できるダクト長さには制限があります。
詳細はお問い合わせください。

＊表内□ / □の数字は 50/60Hz の値を示します。

機種・型式		床置 上部ダクト接続型、滴下浸透気化式加湿器 VFC	
型番		WM-VFC5000D	WM-VFC10000D
標準加湿能力	吸込空気条件 23℃・40% RH	5.2/5.6kg/h	10.9/11.8kg/h
	吸込空気条件 25℃・40% RH	5.5/5.9kg/h	11.5/12.5kg/h
	＊標準加湿能力は定格風量時の値です。標準加湿能力は吸込空気条件により変化しますので、吸込空気条件が異なる場合は P.8 の加湿能力線図でご確認ください。		
定格風量		1,300/1,400m³/h	2,700/2,900m³/h
定格電源		単相 AC200V 50/60Hz	
定格消費電力		270/390W	450/660W
運転音		64dB（A）	67dB（A）
運転時質量		120kg	155kg
本体塗装色		アイボリー系	
使用条件	本体周囲温湿度	5 ～ 40℃（凍結しないこと） 80%RH 以下	
	吸込空気温度	5 ～ 40℃	
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水（標準仕様に準拠）	
	給水圧力、温度	0.05 ～ 0.5MPa、5 ～ 30℃	



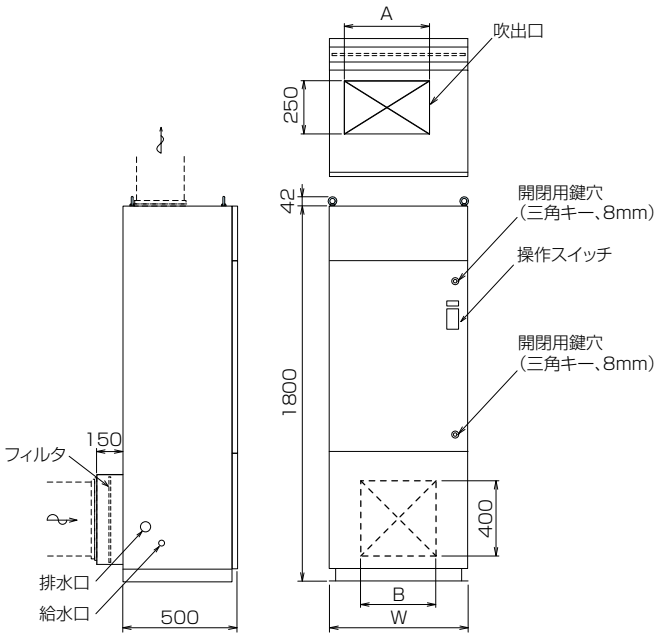
型番	WM-VFC5000D	WM-VFC10000D
W寸法	650	950
A寸法	400	750

背面・上部ダクト接続型仕様

加湿器本体上部吹出口と本体背面下部をダクト接続加工したタイプです。
加湿器本体を空調機械室に設置し、加湿空気を室内に吹き出す場合等に適用します。
※加湿器ファンの機外静圧の関係で、設置できるダクト長さには制限があります。
詳細はお問い合わせください。

＊表内□ / □の数字は 50/60Hz の値を示します。

機種・型式		床置 背面・上部ダクト接続型、滴下浸透気化式加湿器 VFC	
型番		WM-VFC5000DD	WM-VFC10000DD
標準加湿能力	吸込空気条件 23℃・40% RH	4.9/5.2kg/h	9.5/10.9kg/h
	吸込空気条件 25℃・40% RH	5.1/5.5kg/h	10.0/11.5kg/h
	＊標準加湿能力は定格風量時の値です。標準加湿能力は吸込空気条件により変化しますので、吸込空気条件が異なる場合は P.9 の加湿能力線図でご確認ください。		
定格風量		1,250/1,350m³/h	2,400/2,700m³/h
定格電源		単相 AC200V 50/60Hz	
定格消費電力		195/290W	335/515W
運転音		64dB（A）	67dB（A）
運転時質量		125kg	160kg
本体塗装色		アイボリー系	
使用条件	本体周囲温湿度	5 ～ 40℃（凍結しないこと） 80%RH 以下	
	吸込空気温度	5 ～ 40℃	
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水（標準仕様に準拠）	
	給水圧力、温度	0.05 ～ 0.5MPa、5 ～ 30℃	

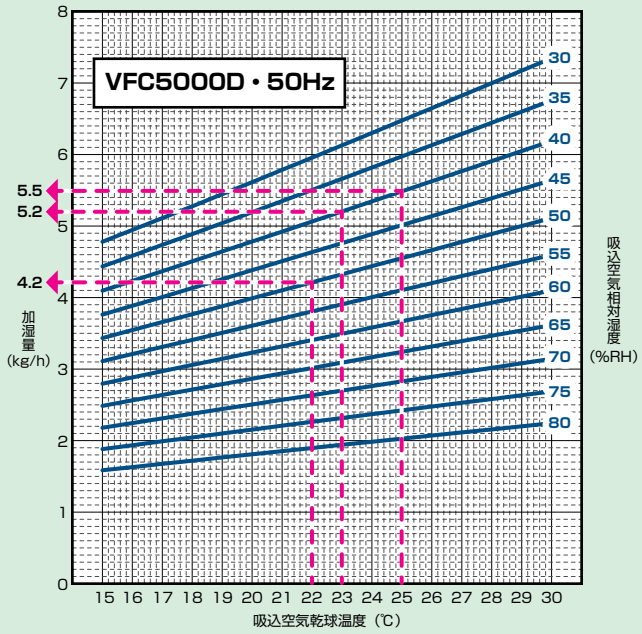


型番	WM-VFC5000DD	WM-VFC10000DD
W寸法	650	950
A寸法	400	750
B寸法	400	800

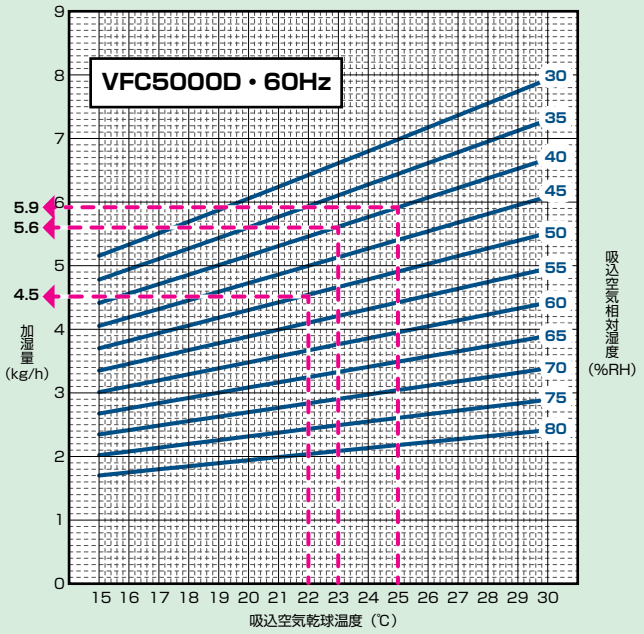
加湿能力線図（上部ダクト接続型仕様）

加湿器吸込空気の温湿度に対する加湿能力を表します。加湿器吸込空気条件が標準加湿能力条件と異なる場合は、下記加湿能力線図の乾球温度・相対湿度の交点から加湿量を求めることができます。

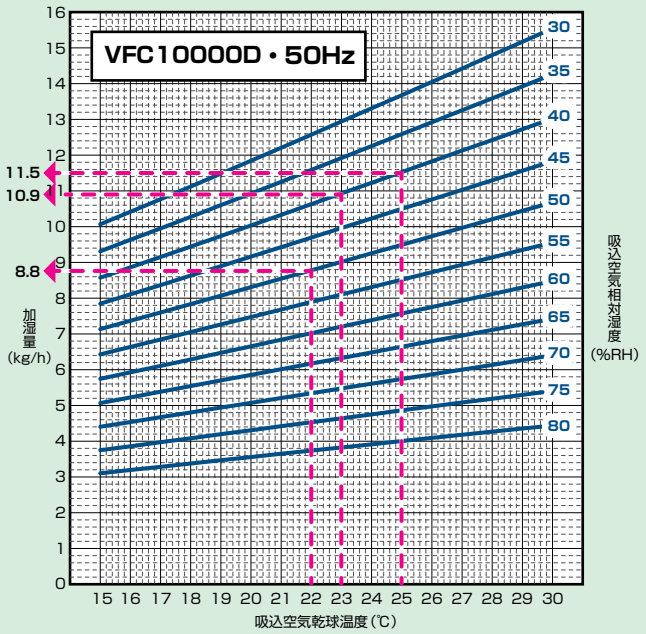
VFC5000D【加湿能力線図読み取り例】50Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 5.2kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 5.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 4.2kg/h



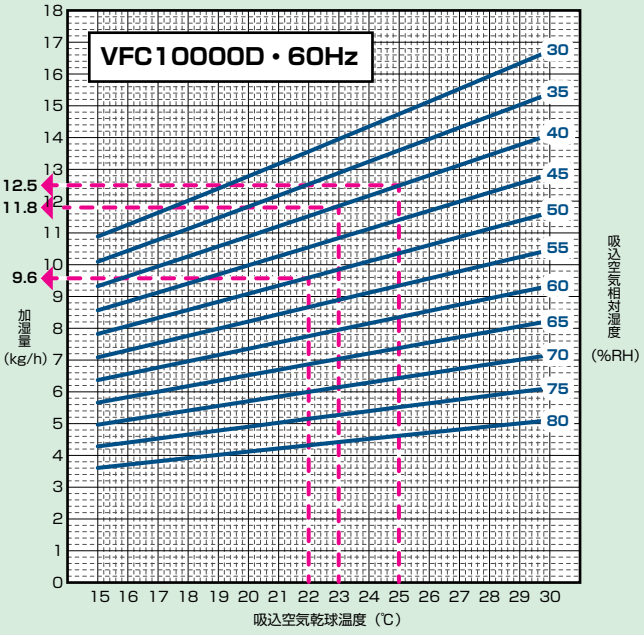
VFC5000D【加湿能力線図読み取り例】60Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 5.6kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 5.9kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 4.5kg/h



VFC10000D【加湿能力線図読み取り例】50Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 10.9kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 11.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 8.8kg/h



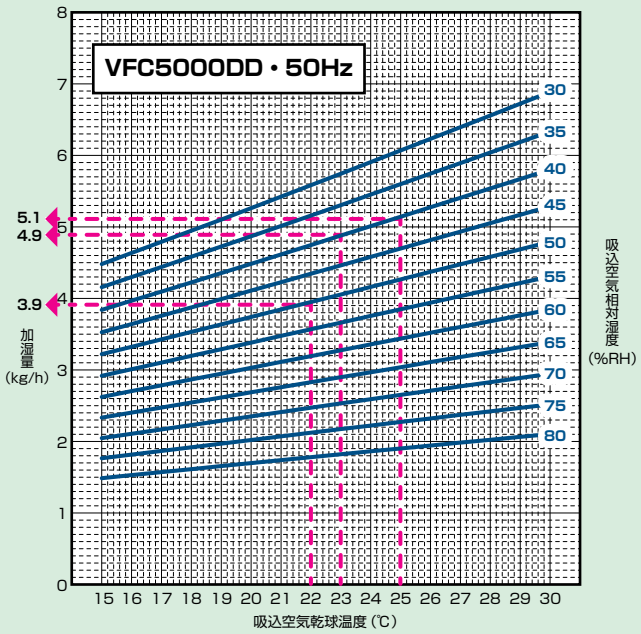
VFC10000D【加湿能力線図読み取り例】60Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 11.8kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 12.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 9.6kg/h



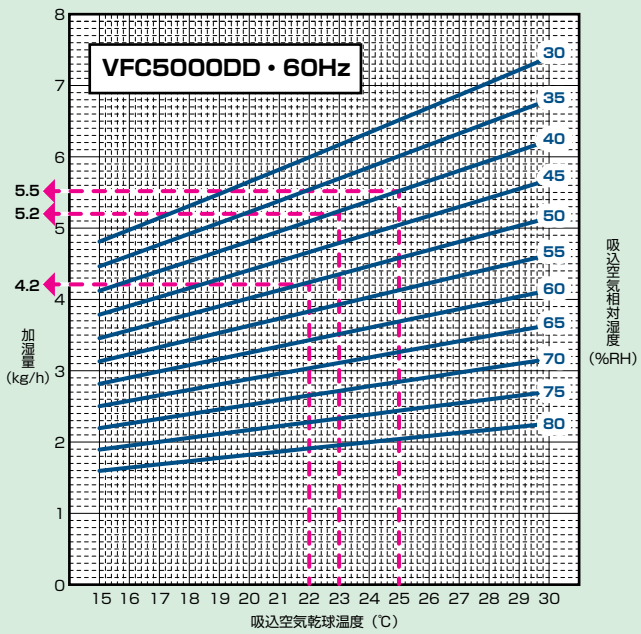
加湿能力線図（背面・上部ダクト接続型仕様）

加湿器吸込空気の温湿度に対する加湿能力を表します。加湿器吸込空気条件が標準加湿能力条件と異なる場合は、下記加湿能力線図の乾球温度・相対湿度の交点から加湿量を求めることができます。

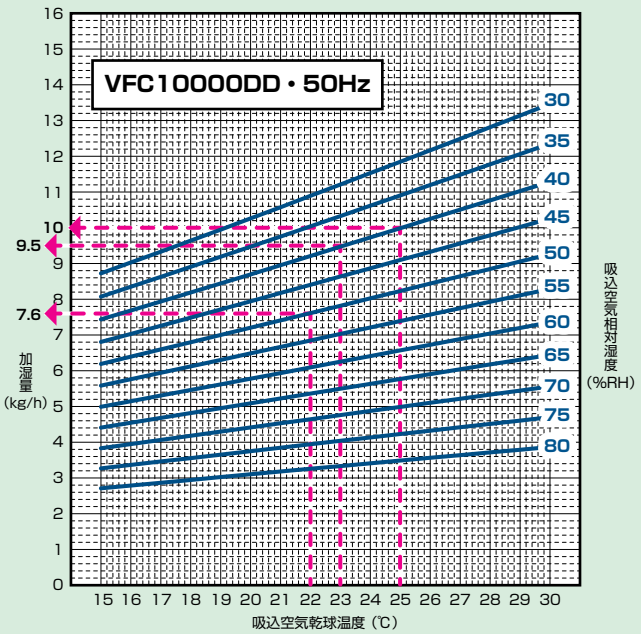
VFC5000DD【加湿能力線図読み取り例】50Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 4.9kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 5.1kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 3.9kg/h



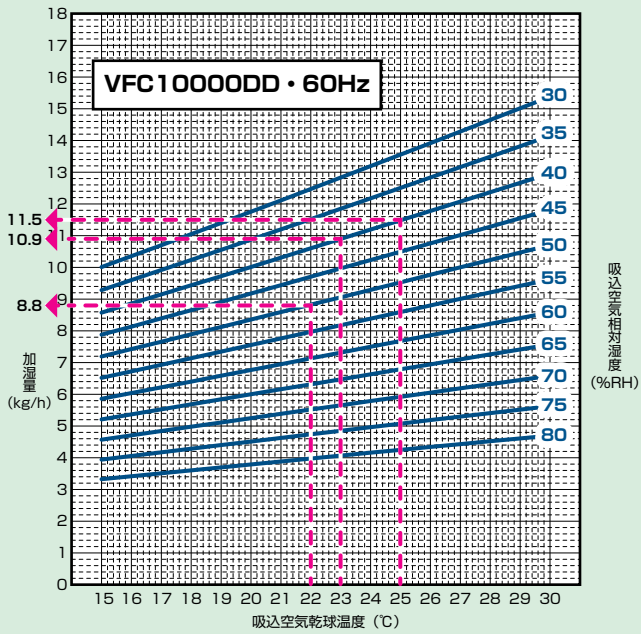
VFC5000DD【加湿能力線図読み取り例】60Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 5.2kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 5.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 4.2kg/h



VFC10000DD【加湿能力線図読み取り例】50Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 9.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 10kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 7.6kg/h



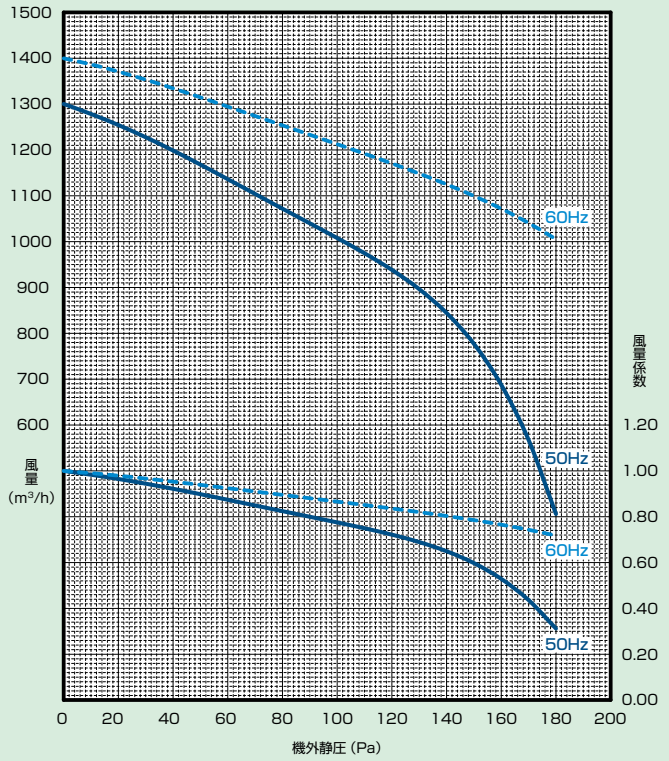
VFC10000DD【加湿能力線図読み取り例】60Hz
吸込空気条件 23℃・40% RH 時の加湿能力 10.9kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 25℃・40% RH 時の加湿能力 11.5kg/h（標準加湿量）
吸込空気条件 22℃・50% RH 時の加湿能力 8.8kg/h



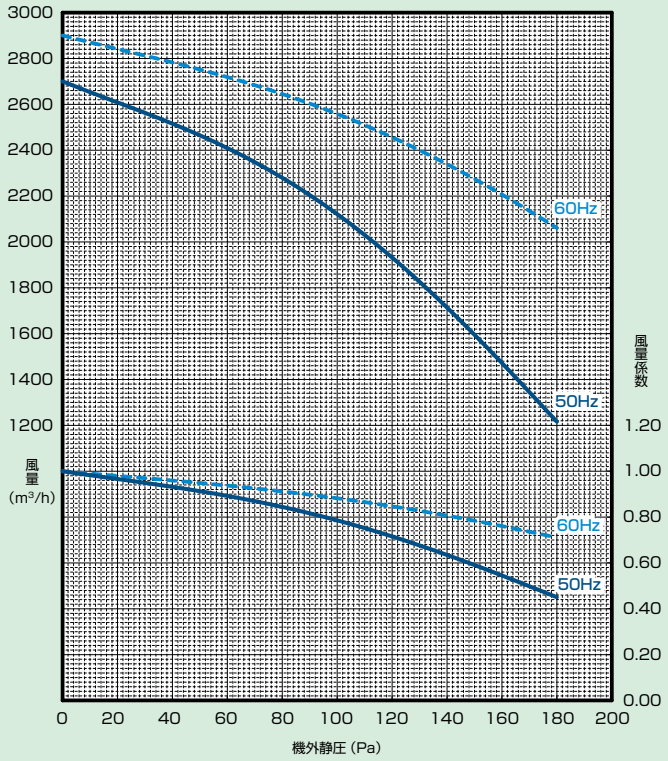
機外静圧-風量特性線図（上部ダクト接続型、背面・上部ダクト接続型仕様）

●運転時の風量を求める場合は、接続されるダクトの圧力損失などの機外静圧から、下記グラフにより風量を読みとります。
●運転時の加湿量を求める場合は、接続されるダクトの圧力損失などの機外静圧から、下記グラフにより風量係数を読みとり、運転時の温湿度から加湿能力線図により求めた加湿能力に風量係数を乗じて算出します。

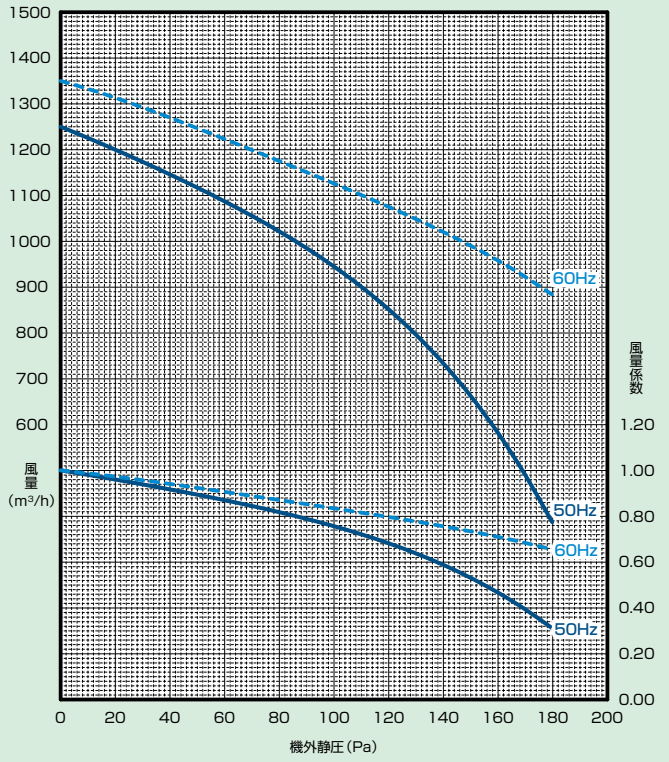
VFC5000D



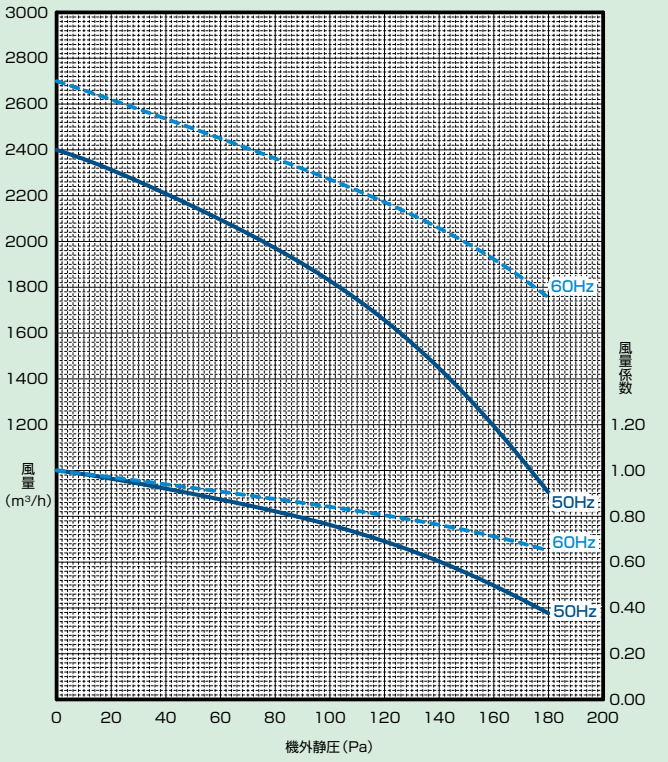
VFC10000D



VFC5000DD



VFC10000DD



関連製品

床置型／単独運転・室内直接加湿
滴下浸透気化式加湿器 WM-VWB タイプ

- VWB タイプは床置型の本体を単独で設置し、室内空気に対して直接加湿を行う滴下浸透気化式加湿器です。強運転で 3.0kg/h の加湿量を確保します。
- NC 値 35 をクリアした静音性で、事務所から老健施設まで幅広くご利用いただけます。

老健施設での設置イメージ

WM-VWB3000

※表内□／□の数字は、50/60Hz の値を示します。

機種・型式		滴下浸透気化式加湿器 VWB
型番		WM-VWB3000
標準加湿能力		3.0/3.0kg/h（ファン強）　2.4/2.4kg/h（ファン弱） **＊上記は、ファン強：吸込空気条件 20℃・30%RH、ファン強時** **ファン弱：吸込空気条件 20℃・30%RH、ファン弱時の値です。** **標準加湿能力は吸込空気条件により変化しますので、吸込空気条件が異なる場合は加湿能力線図でご確認ください。**
定格風量		870/870m³/h（ファン強）　650/650m³/h（ファン弱）
運転音※1		45/45dB（A）（ファン強）　39/39dB（A）（ファン弱）
風量切替		操作スイッチ（ヒューミディスタット搭載）による強・弱二段切替
定格電源		単相　AC100V　50/60Hz
定格消費電力		145/145W（ファン強）　88/91W（ファン弱）
設置･保管条件	本体周囲温湿度	5～40℃（凍結しないこと）80%RH以下
使用条件	吸込空気温度	5～30℃　＊30℃以上になる場合は、弊社宛ご相談下さい。
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水※2
	給水圧力、温度	0.05～0.5MPa、5～30℃

※1：無響室に設置した加湿器本体の正面 1.5m、床面 1.0m で計測した値です。
※2：加湿器に使用する供給水は、必ず水道法に定められた水道法水質基準に適合した飲料水をご使用ください（上水道の使用を推奨します）。飲料水の水質基準を満足した水でも地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水を利用した水の使用では、その含有成分の影響で早期のスケール発生やスケール飛散が生じる場合がありますのでご注意ください。また、軟水器処理水および軟水器処理水と地下水・井戸水・地下水を利用した専用水道・工業用水との混合水は使用しないでください。軟質のスケールが析出し、飛散することがあります。

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の前に製品説明書類をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。
- 取付工事、電気工事は専門業者に依頼してください。
- 本製品は、定期的な保守点検作業が必要です。保守点検作業は、当社または専門業者にご相談ください。

ウエットマスター株式会社

本社営業本部	〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル	TEL.03-3954-1101
大 阪 支 店	〒540-0024 大阪市中央区南新町1-1-2 タイムスビル	TEL.06-4790-6606
名古屋営業所	〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル	TEL.052-745-3277
仙台営業所	〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-27-7	TEL.022-772-8121
福岡営業所	〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10	TEL.092-471-0371

- 業務用・産業用各種加湿器
- 流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

●製品の仕様は改良などのために予告なしに変更することがありますのでご了承願います。

2501 ②